

事業所名

たいようのはな

支援プログラム

作成日

8 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		「おはよう!!たいよう!!やってみよう!!」自分を愛し、自分を信じ、どんな事にも挑戦できる子どもに。															
支援方針		～アウトドアを通したワクワク脳育～アウトドア活動等身体を動かして五感を刺激し、脳の発育を促していきます。また、アウトドア活動を通して友だちとの社会性の向上、防災時の対応方法を自分で考え、動けるように促していきます。 「自分でできた。」「自分はすごい。」と思える体験活動を通し自己肯定感の向上に繋がります。															
営業時間		9時		0分		から		19時		0分		まで		送迎実施の有無		ありなし	
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・日常生活に必要なトレーニング：身体機能の向上、生活動作の自立、社会性（服の着脱・食事等）遊びを用いて練習を行います。 ・衛生の支援、指導：手洗い、消毒、感染症の予防法を伝え、自分でできるように促します。 ・危険回避の指導：避難訓練、火災訓練、地震や水害を想定した訓練を行います。また、キャンプ道具を使って防災訓練を行います。															
	運動・感覚	・理学療法士による専門療育：木登りや薪割り等のアウトドア活動を通し、筋肉の発育、体幹やバランス感覚を養い身体の安定性を高めます。 ・作業療法士による専門療育：レザークラフトや廃材工作を通して、手先の微細運動機能の向上を目指した支援を行います。 ・キャンプインディレクターによる専門療育：ブッシュクラフト等のアウトドア活動を通し、五感を刺激するだけでなく、運動機能向上にも繋がります。 ・沖縄の伝統芸能エイサー：体の発育、ボディバランスの発育を促します。また、みんなで音に合わせて一緒に活動する楽しさを感じる事ができるように取り組みます。															
	認知・行動	・自然界にある物や日常にある物を用いて、物の名前、色、形、大きさ、重さ、数の認知や理解を促します。 ・ルールや守る必要性がある事の認知や理解を（集団では遊びの中で、個別では話しや絵や文字を使って）促します。															
	言語コミュニケーション	・経験や、遊びの中で、言葉を理解したり、表現できるよう働きかけます。 ・話を聞いて相手の気持ちを理解したり、自分の思いを言葉で伝えることができるように促します。 ・なぜ良い事なのか？なぜ悪い事なのか？を確認し合い支援に繋がります。															
	人間関係社会性	・集団でのアウトドア活動を通して、人と関わることの楽しさを感じられるよう支援します。また、仲間との関わりの中で信頼関係を築きながら、周囲の人とも安定した人間関係を築いていけるよう取り組みます。 ・集団指導で友達と関わる楽しさや、交代、順番などのルールを守り、主張したり合わせたりして、仲良く遊ぶ事が出来る様に取り組みます。 ・気持ちのコントロールや切り替え、折り合いをつける練習を取り入れます。															
家族支援		・半年に1回以上、保護者と面談を行います。毎回利用後の連絡帳を通して、利用状況をお伝えし、成長した所、成長の課題をお伝えします。 ・保護者会、勉強会、焚火カフェ（月に一回）を通し保護者間のコミュニケーションの向上も図ります。								移行支援		・保育園、小中高校のステップアップに備えてスムーズに適切な支援が受けられる様に促します。 ・就労支援事業所と連携をとり、就労に向けての支援も行います。					
地域支援・地域連携		・保育所等訪問等により幼稚園、保育園、小中高校に訪問し、活動の様子を見せていただいたり、保育士、学校の先生と情報共有をし、連携をして発達を促します。 ・地域の行事にも積極的に参加し、近隣の事業所との交流も図ります。								職員の質の向上		・キャンプディレクターによるアウトドア研修を取り入れ防災活動に繋がります。また、年一回の虐待防止・身体拘束等の適正化に関する研修、その他の研修(月一回以上)を行い知識理解を深め、意識を持ちながら支援の実施に努めます。					
主な行事等		秋祭り、デイキャンプ(月一回)、ハイキング(月一回)、アウトドアクッキング(月一回)、親子デイキャンプ、親子レザークラフト体験、外部講師による経験活動お泊りたいよう(3年生以上)、カヌーキャンプ（4年生以上）、バンガローキャンプ（4年生以上）、その他キャンプイベント															